

国際標準規格を用いた ASTER 高温領域検出システムの開発 Development of ASTER Hot Spot Detection System using International Standards

山本 直孝^{1*}, 中村 良介¹, 土田 聡¹, 岩男 弘毅¹, 浦井 稔¹

YAMAMOTO, Naotaka^{1*}, NAKAMURA, Ryosuke¹, TSUCHIDA, Satoshi¹, IWAO, Koki¹, URAI, Minoru¹

¹産総研

¹AIST

観測装置の大型化, 高精度化に伴い地球観測衛星により取得される観測データはペタバイトを超え, 膨大なものになってきている。これまで, 地球観測衛星により取得された観測データは, 位置や時刻, 観測条件などがカタログ情報として整備され, 利用者は自らの興味がある地域や領域, 観測日時などを条件に観測データを検索し, 必要な観測データを取得し解析していた。一方で, 地球観測衛星データを用いて火山活動, 森林火災, 環境変化など時間的な変化を捉えるためには全ての観測データを監視, 解析する必要がある。これまでも, MODIS Rapid Fire のように地球観測衛星データから森林火災などを自動的に検知し, そのデータを公開するシステムは開発されている。しかし, これらのシステムは衛星データを所有している機関が自ら提供しているサービスであり, 外部のユーザがこのようなシステムを構築することは非常に困難である。そこで, 本研究では衛星データアーカイブを所有していないユーザでもこのようなシステムを開発することが可能となるように, 国際標準規格を用いた地球観測衛星データアーカイブのあり方を提案し, 一例として, 地球観測衛星 Terra に搭載された ASTER の熱赤外バンドを用いた高温領域自動検出システムを開発したので報告する。

キーワード: ASTER, GeoRSS, OGC

Keywords: ASTER, GeoRSS, OGC